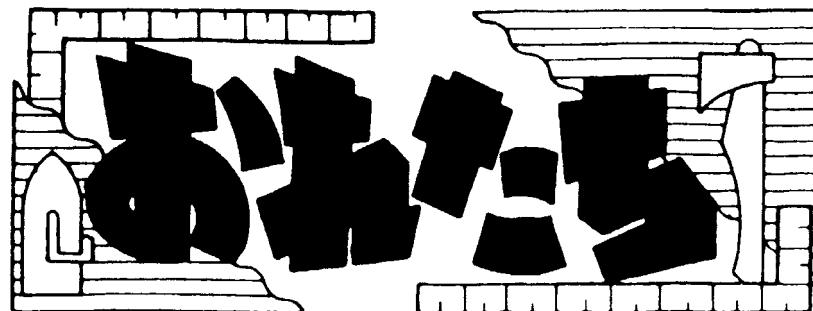


 謹賀新年

記事と情報の提供を
お待ちしています

1月初組合員数=2227人(-70人)



2011年

1月10日

第507号

検索

<http://www.doken-arakawa.org/> 東京土建荒川支部

築40年
戸建木造
大リフォーム

部屋中が明るく新築みたい

萩原さん(荒川7丁目住) 組合のリフォームセンターを利用



田中さん(右)と施主
の萩原さん
萩原さんのお孫さん。
ミックキーマウスの壁紙に

「居間もミックキーマウスの壁紙にしたので、孫は大喜びです。洗面所、トイレのクロスも張替えてもらい、とても明るくなりました。もっと早くリフォームをすればよかった」。支部事務所1階の常設リフォームセンターで、工事の依頼をした萩原政夫さん(荒川区荒川7丁目)。萩原さんの奥さんと工事を担当した町屋北分会の田中工務店社長、田中正善さん(72歳)に話を聞きました。

萩原さんは、荒川分会の間所秀夫さんの紹介で昨年5月7日、リフォームセンターに工事相談と見積もり依頼をしました。支部のリフォーム会

員の田中さんは早速、萩原さん宅を訪問し、現場確認を行いました。

萩原さん宅は、築40年の2階建ての木造戸建て住宅。台

一階で勉強していると、暗くて懐中電灯で照らさないと勉強ができない。—田中さんは、専門的な立場から萩原さんにアドバイスをして、台所のフローリングと壁紙の張替え。二か所ある照明を一か所に。また、洗面所、トイレ、居間のクロスの張替えをすることに。

所は長年のたばこのヤニなどで汚れがひどく、掃除をしてもきれいにならない。また、湿気がひどく、サッシや冷蔵庫などが汗をかき、料理をするからなおさらひどい。冬は寒くて締め切っているので、

部屋中がダラダラと汗をかき、毎朝バスタオルで台所の汗を拭きとるとびしょびしょ。湿気との闘いででした。

また、お孫さんが台所のテーブルで勉強していると、暗くて照明も明るさを調整できました。台所のフローリングも、ペットの大がいるので、傷がつきにくい高級な素

材を使用しました。工事は7月15日に完了しました。田中さんは「萩原さんの要望を聞いて、少しでも新築に近づけるように努力しました」と話していました。田

中工務店の仕事は、講談社の本などにも紹介されています。

川又好一記者=日暮里1
根本武義記者=南千住

ミックキーマウスもやつてきた

居間・トイレなどのクロスの張替えも

6月8日から着工。台所に

あった、家具屋で購入した食器棚もオーダー家具のようにはめ込みで家具を収めました。

新の物に変わり、配線が壁中に見えましたが、天井に

回して見えないようにしました。

照明も明るさを調整でき

る大きな丸形にして、部屋中

が明るくなりました。

サッシも二重にしたので、

部屋がとても暖かく便利にな

りました。台所のフローリン

グも、ペットの大がいるの

で、傷がつきにくい高級な素

材を使用しました。

工事は7月15日に完了しま

した。田中さんは「萩原さん

の要望を聞いて、少しでも新

築に近づけるように努力しま

した」と話していました。田



2011年 新春グリーティング



〈問題〉上の絵と下の絵には7カ所のまちがいがあります。どこででしょう。(印刷の汚れやかすれ、濃淡はまちがいに入りません)



政財界で、消費税引き上げをめざす議論が本格化している。今年はその動きがさらに加速するだろう。私

は2010年7月に出した自著「消費税のカラクリ」(講談社現代新書)で、こどさるに隠されていた消費税の問題点や、引き上げが社会にもたらす悪影響を指

摘した。

大企業に毒された報道

具体的には、大手との価

格競争で消費税を客に転嫁

できない中小零細の自営業

者が、引き上げでさらにダメ

ージを受けて、倒産や廃

業に追い込まれるに違いない。それは、街並みが大手

・チェーン店ばかりになる

ことにつながる。倒産で労

働市場に流れる人が増えて

さいとう・たかお 東京

都出身。新聞、週刊誌記者

を経て独立し、ペンで社会

に警鐘を鳴らす。連合通信

生活文化特集「レジスタン

スのすすめ」を連載中

買い手市場になる結果、ワーキングプアや失業が広がり、自殺者が増える危険も高い。

だが、マスクはひどつて事実を無視している。背

筆活動を続けており、そ

して社会を絶対に許すわけ

にいかない。

引き上げ賛成派のある学

者は、「消費税を上げなければ、生産性が上がらない」

と言った。自営業者な

どはつぶれてくれた方が、

国家社会のためだというの

である。彼らは一体、人間

というものを何だと思って

いるのだろう。激しい怒り

を覚える。

「財政難」を疑え

した社会を絶対に許すわけ

にいかない。

引き上げ賛成派のある学

者は、「消費税を上げなければ、生産性が上がらない」

と言った。自営業者な

どはつぶれてくれた方が、

国家社会のためだというの

である。彼らは一体、人間

というものを何だと思って

いるのだろう。激しい怒り

を覚える。

「財政難」を疑え

した社会を絶対に許すわけ

にいかない。

引き上げ賛成派のある学

者は、「消費税を上げなければ、生産性が上がらない」

と言った。自営業者な

どはつぶれてくれた方が、

国家社会のためだというの

である。彼らは一体、人間

というものを何だと思って

いるのだろう。激しい怒り

を覚える。

「財政難」を疑え

消費税引き上げを絶対許すな

ジャーナリスト 斎藤 貴男さん

景には、広告撤退をちらつかせてマスクに圧力をかける大企業の存在があるからだ。

批判することもせず、体制におもねるマスクに精神のかけらもない。こうした構造で「引き上げありき」一色で染められた世論誘導が進んでいるから、私の元にも時に罵詈(ばり)

買収される。政府税制調査会の加藤寛省は、消費税増税の口実に

したいだけだと語っている。引き上げそのものには

ワーキングプアや失業が広がり、自殺者が増える危険も高い。

だが、マスクはひどつて事実を無視している。背

筆活動を続けており、そ

うした社会を絶対に許すわけ

にいかない。

引き上げ賛成派のある学

者は、「消費税を上げなければ、生産性が上がらない」

と言った。自営業者な

どはつぶれてくれた方が、

国家社会のためだというの

である。彼らは一体、人間

というものを何だと思って

いるのだろう。激しい怒り

を覚える。

「財政難」を疑え

した社会を絶対に許すわけ

にいかない。

引き上げ賛成派のある学

者は、「消費税を上げなければ、生産性が上がらない」

と言った。自営業者な

どはつぶれてくれた方が、

国家社会のためだというの

である。彼らは一体、人間

というものを何だと思って

いるのだろう。激しい怒り

を覚える。

「財政難」を疑え

した社会を絶対に許すわけ

にいかない。

引き上げ賛成派のある学

者は、「消費税を上げなければ、生産性が上がらない」

と言った。自営業者な

どはつぶれてくれた方が、

国家社会のためだというの

である。彼らは一体、人間

というものを何だと思って

いるのだろう。激しい怒り

を覚える。

「財政難」を疑え

した社会を絶対に許すわけ

にいかない。

引き上げ賛成派のある学

者は、「消費税を上げなければ、生産性が上がらない」

と言った。自営業者な

どはつぶれてくれた方が、

国家社会のためだというの

である。彼らは一体、人間

というものを何だと思って

いるのだろう。激しい怒り

を覚える。

「財政難」を疑え

した社会を絶対に許すわけ

にいかない。

引き上げ賛成派のある学

者は、「消費税を上げなければ、生産性が上がらない」

と言った。自営業者な

どはつぶれてくれた方が、

国家社会のためだというの

である。彼らは一体、人間

というものを何だと思って

いるのだろう。激しい怒り

を覚える。

「財政難」を疑え

した社会を絶対に許すわけ

にいかない。

引き上げ賛成派のある学

者は、「消費税を上げなければ、生産性が上がらない」

と言った。自営業者な

どはつぶれてくれた方が、

国家社会のためだというの

である。彼らは一体、人間

というものを何だと思って

いるのだろう。激しい怒り

を覚える。

「財政難」を疑え

した社会を絶対に許すわけ

にいかない。

引き上げ賛成派のある学

者は、「消費税を上げなければ、生産性が上がらない」

と言った。自営業者な

どはつぶれてくれた方が、

国家社会のためだというの

である。彼らは一体、人間

というものを何だと思って

いるのだろう。激しい怒り

を覚える。

「財政難」を疑え

した社会を絶対に許すわけ

にいかない。

引き上げ賛成派のある学

者は、「消費税を上げなければ、生産性が上がらない」

と言った。自営業者な

どはつぶれてくれた方が、

国家社会のためだというの

である。彼らは一体、人間

というものを何だと思って

いるのだろう。激しい怒り

を覚える。

「財政難」を疑え

した社会を絶対に許すわけ

にいかない。

引き上げ賛成派のある学

者は、「消費税を上げなければ、生産性が上がらない」

と言った。自営業者な

どはつぶれてくれた方が、

国家社会のためだというの